

2009年度

科目名	心理学特講Ⅱ		
担当教員	熊野 道子		
配当	教福3	コード	42490
開期	後期	講時	木曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	家族・夫婦・親子についての実証的心理学研究に基づいて「今、日本の家族は？」「家族の未来は？」を考える		
目的と概要	保育や教育の領域で、その対象である子どもの理解だけではなく、子どもを取り巻く家庭、子どもの養育を担う親の心理や機能についての理解も必要である。この授業では、家族・夫婦・親子についての実証的心理学研究に基づいて、家族にどのような変化が生じているのか、それはなぜなのか、変化の背景にある社会的状況などを理解することを目標とする。		
成績評価法	試験と平常点により総合的に評価する。		
テキスト	柏木恵子・大野祥子・平山順子(著)「家族心理学への招待」ミネルヴァ書房(2006)		
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族とは何か(1) 現代日本の家族、家族の起源・進化・発達、家族の成立 2. 家族とは何か(2) 日本の「近代家族」の歴史、多様な家族 3. 恋愛・結婚・夫婦(1) 恋愛・パートナー選択、結婚の意味・価値 4. 恋愛・結婚・夫婦(2) 結婚＝夫婦は幸せか？、家族生活を営むということ 5. 恋愛・結婚・夫婦(3) 家計と夫・妻の心理、子育て期の多重役割 6. 恋愛・結婚・夫婦(4) 夫婦のコミュニケーション、定年後の夫婦 7. 子ども・親子の関係(1) 人類の親子、子どもの価値 8. 子ども・親子の関係(2) 人口革命、「つくる」時代の親と子 9. 子ども・親子の関係(3) 子育て不安、育児期家族にとっての夫・父親 10. 子ども・親子の関係(4) 家庭内暴力、母親の就労と親子の絆 11. 子ども・親子の関係(5) 父親と母親、親としての発達、いろいろな養育のかたち 12. 子ども・親子の関係(6) 中年期の親と青年期の子ども、老年期の親と中年期の子ども 13. 「家族」再考(1) 家族をとりまく物的環境、家族を支える制度・政策 14. 「家族」再考(2) 今改めて「家族」とは何か？、家族の発達 15. まとめ 			